

会議結果のお知らせ

令和8年6月15日掲載

審議会名称	山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会 (令和8年度道の駅富士川を核とした南山梨の高付加価値化推進業務委託審査委員会)
日時	令和8年6月10日(水曜日) 10時30分～11時45分
場所	山梨県庁 防災新館404会議室
出席者の氏名	(委員) 安達義通 古屋亮 小林喜文 鈴木孝二 黒倉美穂 (事務局) 地域ブランドグループ 地域ブランド戦略監 他(計5人)
議題	1. 山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会(令和8年度道の駅富士川を核とした南山梨の高付加価値化推進業務委託審査会)運営要綱の制定 2. 企画提案のプレゼンテーション審査及び受託事業者の選定
会議の結果	議題1 山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会(令和8年度道の駅富士川を核とした南山梨の高付加価値化推進業務委託審査会)運営要綱を制定し、委員長を選任した。 議題2 令和8年度道の駅富士川を核とした南山梨の高付加価値化推進業務委託に係る企画提案について審査し、業務委託候補者を選定した。
会議を非公開とした理由	議題1 山梨県情報公開条例第8条第6号に規定する事項について審議等を行うときに該当(指針第3条第1項) 議題2 山梨県情報公開条例第8条第2号に規定する事項について審議等を行うときに該当(指針第3条第1項)
会議資料 公表非公表の別	議題1 全部公表 議題2 非公表
会議録 公表非公表の別	一部公表
問い合わせ先	所属名、担当者名：高度政策推進局 地域ブランドグループ 電話番号：055-223-1584 ファックス番号：055-223-1776
備考	

様式 3

企画提案審査方式による選定結果一覧表

公表項目	内 容		
1 契約名	令和8年度道の駅富士川を核とした南山梨の高付加価値化推進業務委託契約		
2 審査年月日	令和8年6月10日（木曜日）		
3 評価基準、配点及び評価	第一順位委託候補者		
業務に対する理解度 (配点：20点×審査委員5名)	76		
企画提案内容 (1) 道の駅富士川を核とした情報発信・回遊創出の定着化 (配点：30点×審査委員5名)	105		
企画提案内容 (2) 体験コンテンツの実装・運営と収益化 (配点：30点×審査委員5名)	93		
企画提案内容 (3) 事業の自走化を見据えた事業運営体制及び計画整理 (配点：30点×審査委員5名)	93		
業務実施計画 (配点：10点×審査委員5名)	32		
評価指標（KPI） (配点：10点×審査委員5名)	30		
業務実施体制 (配点：10点×審査委員5名)	36		
過去の実績・類似する業務の経験・専門知識 (配点：10点×審査委員5名)	39		
価格 (配点：10点×審査委員5名)	50		
4 審査結果	554		
5 契約の方法	企画提案審査随意契約		
6 委託候補者の名称	契約後に別途山梨県のホームページで公表		
7 所属名	高度政策推進局地域ブランドグループ		

**「令和8年度 道の駅富士川を核とした南山梨の高付加価値化推進業務」に係る
企画提案選定の手順及び審査の基準（企画提案審査）**

1 選定の手順

(1) 審査委員による申請内容の審査

(2) 審査結果により委託候補者を選定

- 「2 審査の基準」に示す内容点各項目の得点（審査委員の評価点に係数を乗じて算出する）と価格点を合計したものを審査点（160点満点）とする。
- 審査委員の審査点を合計して総合点を算出し、得点の多い順に委託候補者として選定する。
- 総合点と同じ場合は、審査委員の多数決により順位を決定する。ただし、次のいずれかに該当する場合は順位にかかわらず委託候補者としない。
 - ・ 審査委員の2名以上が評価点2点以下とした審査項目が1つ以上ある場合
 - ・ 審査委員の2名以上が審査点を80点未満とした場合

2 審査の基準

審査項目	評価点 (10点満点)	係数	配点 (評価点×係数)
I 内容点			
1 業務に対する理解度			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務の趣旨・目的を十分に理解した上で、全体の企画コンセプトが示されているか ・ コーポレートブランド「やまなし」のブランド確立に向けたビジョンや本県(特に南山梨地域)の地域資源に対する十分な理解があるか 	10	2	20
2 企画提案内容			
(1)道の駅富士川を核とした情報発信・回遊創出の定着化			
以下について、効果的な提案がなされているか。 ・これまでに構築した特設WEBサイトや特設コーナー等を基盤として、南山梨エリアへの来訪・回遊・消費行動が実際に生じる状態を定着させること	10	3	30
(2) 体験コンテンツの実装・運営と収益化			
以下について、効果的な提案がなされているか。 ・R7年度までに試行・検証された体験コンテンツを軸として、実施体制・価格設定・催行方法等を整理し、単発イベントに終わらない、現実的な運営モデルとして定着させること	10	3	30
(3) 事業の自走化を見据えた事業運営体制及び計画整理			
以下について、効果的な提案がなされているか。 ・地域が主体となった事業化が実現するよう、次年度以降を見据えた事業推進を行うこと	10	3	30
3 業務実施計画			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の実施スケジュールに実現性があるか ・ 実施手順が効果的であるか 	10	1	10
4 評価指標(KPI)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切なKPIが設定されているか 	10	1	10
5 業務実施体制			
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンスや情報管理を適確に行い、本事業を確実かつ効果的に実施する体制を備えているか(他社との連携体制を含む) 	10	1	10
6 過去の実績・類似する業務の経験・専門知識			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的・技術的な知見を有し、ノウハウを活かすことが期待できるか 	10	1	10
II 価格点			
・ 配点×応募者中の最低価格／提案者の価格 ※ 小数点以下第1位で四捨五入			10
審査点			160